

4月のテキゴト

4月22日(土) いずみ自然塾 「ガイドンス・高麗川を歩く」

令和5年度が始まり、いずみ自然塾本年度の第1回が開催されました。本年度のメンバーの中には上尾市から参加されている方も加わり、坂戸の自然に遠方の方も興味を持っていただいたことは嬉しい限りです。



来年3月までの1年間、主に坂戸市内の自然観察、館内での専門家の面白い話等、月一回のペースで開催されます。

今回は初回なので館内でガイドンスを行い、さっそく浅羽ビオトープの手前までの往復の道のりを歩いていきました。様々な植物、昆虫、野鳥などを観察するため、主に土手の上から河川敷の中に降りて歩きました。

「これは外来種、あれは在来種」とかその植物がどのように利用されてきたか等、講師の説明を聞きながら見て行くのは、一人で散歩がてら歩くのとはまた一味違ったものがあります(私は聞いたことを8割方覚えていませんが)。



キジの鳴き声が時々聞こえてくるので姿を見せてくれないかなと思いつつしばらく歩くと、さっそく対岸に姿を見せてくれました。キジの雄ですが肉眼では真っ黒に見え、姿がわかりにくかったので、野鳥観察ではない時でも双眼鏡は持って行った方がよさそうです。高麗川の河川敷によく見られるオニグルミには雄花と雌花が有るそうです。関越自動車道をくぐった先でちょうど両方見ることが出来ました。ふと足元を見るとオニグルミの種の殻が落ちていました。

去年のものでしょうか、半分に割れてその割れ口はハート形。

自然への愛を表しているのでしょうか? 私には「これからは俺たちの季節だ!」と言っているカエルの顔に見えました。



オニグルミの雌花



オニグルミの雄花

